

57

満濃池

香川県満濃町大字神野

満濃町は、讃岐平野南部に位置する町で、西隣は、金比羅宮のある琴平町である。南部には、日本一の満濃池をはじめとして数多くのため池があり、温暖な気候をいかした農業が盛んな町である。〔文化・観光〕満濃池、弘安寺跡



「満濃池」は八二一年空海によって創築されたといわれ、日本一の灌漑用溜池である。毎年六月一五日には水田を灌漑するため、ゆる抜き行事が行われ、讃岐の初夏の風物詩として近隣の町からも大勢の見物客が訪れにぎわっている。

池では周辺を「ほたるの里」としてホタルを養殖し、昔ながらのまんのうホテルを再生させるよう努力している。また一帯には豊かな自然が残されており、春には池畔に植えられている花梨がピンク色の可憐な花をつけるなど、四季おりおりの風情をみせている。

町内ボランティアにより「まんのうカリン大鼓」がつくられ、町民に喜ばれており、池はまさに満濃町のシンボルであるといえよう。